

安全データシート
Safety Data Sheet

1. 製品及び会社情報

製品名	ゴージャー ハンドクリーナー タオル
会社名	ゴージャージャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル3F
電話番号	03-5280-4807
緊急時の電話番号	03-5280-4807
FAX番号	03-5280-4843
推奨用途及び使用上の制限	ハンドクリーナー

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 区分2A

ラベル要素
絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性情報 強い眼刺激性。
注意書き

【安全対策】 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱後はよく洗うこと。
【応急措置】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS番号
水	7732-18-5
グリセリン(1%以下)	56-81-5
香料	NA
界面活性剤(ポリソルベート20等)	9005-64-5
その他不織布等	NA

4. 応急措置

一般的な注意 不快感が起きた場合は、すみやかに医師の診察を受けること。状態が良くならない又はその疑いがある場合には、医師の診察を受けること。
吸入した場合 呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動すること。不快感が起きた場合は医師の診察を受けること。

<p>皮膚に付着した場合</p>	<p>予防措置として水及び石鹼で洗うこと。 刺激が起こった場合は医師の診察を受けること。</p>
<p>目に入った場合</p>	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断/手当てを受けること。</p>
<p>飲み込んだ場合</p>	<p>口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。不快感が起きた場合は医師の診察を受けること。</p>
<p>予想される急性症及び遅発性症状、並びに最も重要な徴候及び症状 応急措置をする者の保護</p>	<p>強い眼刺激性</p> <p>応急措置をする者は自分を保護するために注意すること。暴露の可能性がある場合には適切な保護具を用いること。</p>
<p>5. 火災時の措置</p>	
<p>消火剤 特有の危険有害性 有害燃焼副産物 特有の消火方法</p>	<p>水噴霧、耐アルコール性泡、粉末消火剤、二酸化炭素 燃焼生成物への暴露 二酸化炭素</p> <p>現地の状況と周囲の環境に応じて適切な方法で消火を行うこと。未開封の容器を冷却するために水噴射を行うこと。もし安全であれば、火災現場から損傷していない容器を取り除くこと。区域より退避すること。</p>
<p>消火を行う者の保護</p>	<p>火災の際は自給式呼吸器を着用すること。個人用保護具を使用すること。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p>	
<p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置</p>	<p>個人用保護具を使用すること。 安全に関する取扱い上の注意や個人用保護具の推奨事項に従うこと。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>環境への漏出は避けること。安全であれば更なる漏出を防ぐこと。広範囲に広まるのを防ぐ(防止手段:隔離、オイルバリアの使用等)。汚染された洗浄水は、保存しておき廃棄すること。漏出した製品が河川に排出されないように注意すること。排水溝/水系環境に漏出した場合は地域の行政当局に連絡すること。</p>
<p>封じ込め及び浄化方法・機材</p>	<p>不活性な吸収剤を使用し吸収すること。大規模な漏出の場合は、拡散から材料を保つために適切な容器を使用すること。適切な吸収剤で残りの材料を清掃すること。漏出物、吸収剤等を廃棄する場合には、地方自治体の基準に従うこと。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p>	
<p>取扱い</p>	<p>適切な換気を行うこと。</p>
<p>技術的対策(局所排気・全体換気)</p>	<p>技術的対策は、8.ばく露防止及び保護措置を参照。</p>
<p>安全取扱い注意事項</p>	<p>蒸気やミストの吸入を避けること。飲み込まないこと。目に入らないようにすること。皮膚との長期間又は繰り返しの接触を避けること。労働衛生的で安全に取り扱うこと。 漏出を防止し環境への流出を最小限にすること。</p>

10. 安定性及び反応性

反応性	非反応性である。
安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤で反応する。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性経口毒性	>5000 mg/kg (急性毒性推定値)
皮膚腐食性・刺激性	分類されない。
眼に対する重篤な損傷・刺激	強い眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類されない。
生殖細胞変異原性	分類されない。
発がん性	分類されない。
生殖毒性	分類されない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類されない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類されない。
吸引性呼吸器有害性	分類されない。

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし。
残留性/分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p>
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
UNRTDG	危険物として規制されていない。
IATA-DGR	危険物として規制されていない。
IMDG-Code	危険物として規制されていない。
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	適用されない。
国内規制	危険物として規制されない。

15. 適用法令

該当なし。

16. その他の情報

ここに提示する情報は、記載した日付の時点において弊社の知識のおよぶ限りの、なおかつ供給したままの状態の製品のみに関する安全性についての十分な概要を提供するための情報です。提示されている全てのデータは、製品特性を決して保証するものではありません。